

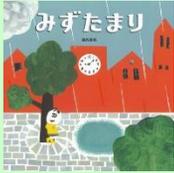


はにゅうしりつとしょかん H30-No.3

【みずたまり】



「みずたまり」
殿内 真帆/作 フレーベル館 Eミ



みずたまり
雨がふってはうまれ、きえていくみずたまり。そこにはなにがうつっているのでしょうか？ふくちゃんのみずたまりにたずねます。「きょうはなにがみえた？」

「みずたまりぼっこ」
すずきはつえ/作 おくはら ゆめ絵 ひしかたチャイルド Eシ



みずたまりぼっこ
こうえんでたったひとりえんそくをしていたかんちゃん。おおきなみずたまりをのぞきこむと、なかからくりつとしためがはなしかけてきて…。

「ぼくの水たまりバケツ」
エリサ クレヴェン/作・絵 徳間書店 Eボ



ぼくの水たまりバケツ
兄さんは、「そんなのあつめられないよ」っていうけど、ぼく、いろんなものを映す、みず水たまりをバケツにあつめるんだ…！

「ばけバケツ」
軽部 武宏/作 小峰書店 Eバ



ばけバケツ
ちゃぶちやぶちやぶん。バケツがやってきて…だっばーん、ころんでしまっ、みずたまりのできあがり。ヤマネコがやってきてひっかいた。「きゃっ」みずたまりからこえがした。

「水たまりの王子さま」
山崎 陽子/作 安井 淡絵 岩崎書店 Eミ



水たまりの王子さま
おいらはスリ。あるときろじうらまどべ時、路地裏の窓辺でおんなこであ女の子に出会った。おいらのことを、絵本の「あわせの王子さま」にそっくりだっというんだ…。

「みずたまり」
森山 京/さく 松成 真理子/絵 偕成社 Eミ



みずたまり
日常的ふとしたきっかけで、じぶんでない、ほかの誰かの気持ちを考えられるようになっていく、子どもの心の成長をえがきます。

【あめ】

「ぼく、あめふりお」
大森 裕子/作 教育画劇 Eボ



ぼく、あめふりお
てるてるぼうずなのに、なまえが、あめふりお。いつもまわりに雨がふっているから、そうよばれているけど、ふりおは、なんだかふまんげです。

「ぴっちゃんぽっちゃん」
Accototo/作・絵 大日本図書 Eピ



ぴっちゃん、ぽっちゃん、あめ雨のおと。雨のなか、あめおさんぽにでかけた、こねこのプチュ。あきさんも、ちようちよさんも、けむしさんも、みんなであまやどり。

「あめふりうります」
平田 昌広/文 野村 たかあき/絵 講談社 Eア



あめふりうります
「ひが一しのはたけに雨さんさん」そういらと、かおをごしごし。なにをするのもめんどうくさりのぐうたらねこ、ねこきちがなにやらおかしなしょうばいをはじめました。

「あめこんこん」
松谷 みよ子/文 武田 美徳/絵 講談社 Eチ



あめこんこん
モモチちゃんは、新しくか買ってもらったまつか赤な傘となが靴をはやくつか使ってみたくてお庭であめ雨ふりごっこをすることにしました。

「ぽっつんととはあめのおと」
戸田 和代/作 おかだちあき/絵 PHP 研究所 Eボ



ぽっつん とととはあめのおと
ぽっつん、とととと、あめ雨がふっています。あーちゃんがつまらないとすねていると、外から変な声がきこえてきました…。

「あめがふるふる」
田島 征三/作 フレーベル館 Eア



あめがふるふる
あめの日、ネくんとキフちゃんがおるすばんしています。ふたりが、そとをながめていると、フキのはっぱのかさをさしたカエルさんがやってきました。

「おたまさん」
軽部 武宏/作 長崎出版 Eオ



おたまさん
あめ雨がふって、おたまさんのせなかに、おおきな池ができました。いけ池には、いろんないきものがすんでいます。

「雨のにおい星の声」
赤座 憲久/文 鈴木 義治/絵 小峰書店 Eア



雨のにおい星の声
運動場に雨がふると、つち土のにおいがするというマシオ。マキオは、ほし星はネコのなき声みたいな気がすると表現します。